

かかし

KS00001645

演芸と映画 復刻版 第1回配本 (約15% off、分売可)

(2025年3月31日まで)

日本以外での販売可否：可 販売可能機関：すべて

同時アクセス3：¥150,000

KS00001646

演芸と映画 復刻版 第2回配本 (約15% off、分売可)

(2025年3月31日まで)

日本以外での販売可否：可 販売可能機関：すべて

同時アクセス3：¥150,000

発行：歴史写真會。「演芸と映画」は、演芸映画文化向上という高き理念の下、演芸映画芸術の革新助成、鑑賞態度この誘致指導を標榜。昭和モダン（注）の演芸と映画の、グラビア・記事・イラスト・最新情報などを堪能できる。

（注：日本の1920～30年代に花開いた、和洋折衷の近代市民文化のこと。現在では1920年（大正9年）以後の文化（大正ロマン）も含む。）

発刊の目的：歴史写真會が大正期に刊行された人気姉妹誌「歴史写真」10万人の読者の要望に応え創刊。

収録：『演芸と映画』1926（大正15）年4月創刊号から1940（昭和15）年11月発行号までの全176冊完全揃いで7回に分けて刊行予定。（第1回及び第2回 同時配信）第1回配信は1926（大正15）年4月から1928（昭和3）年12月発行号までを収録。第2回配信は1929（昭和4）年1月から1930（昭和5）年12月発行号までを収録。『演芸写真新報』（『演芸と映画』解題）1940（昭和15）年12月創刊号から1943（昭和18）年12月発行号までの全37冊を揃いで刊行予定。（全1回）

仕様：『演芸と映画』は、いまから百年以上前に歴史写真會（1913年4月設立）が1926（大正15）年4月から1940（昭和15）年11月まで刊行していたカラーグラビアを含むグラフ雑誌。月刊、A4版。『演芸写真新報』は、『演芸と映画』の解題版として、1940（昭和15）年12月創刊号から1943（昭和18）年12月発行号まで刊行していたカラーグラビアを含むグラフ雑誌。月刊、A4版。特別価格のご案内：セット販売価格176,000円（税別）を創業記念特価として、約15% offの150,000円（税別）にてご提供いたします。

※2025年3月末までにお申し込みの場合に限ります。

かかし

⇒<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD0798.pdf>

龍溪書舎

KS00001629

復刻版 社会福利 全47巻 [目次] (分売不可)

日本以外での販売可否：可 販売可能機関：すべて

同時アクセス1:¥160,000 同時アクセス3:¥320,000

『社会福利』は、東京府慈善協会の会報『東京府慈善協会会報』として、大正6年4月に創刊された。その後、『東京府慈善協会(会)報』、『東京府社会事業協会報』、『社会福利』、『厚生事業』と改称され、昭和19年6月までの発行が確認されている。戦前の東京の社会事業の実態を知るにあたって欠かすことのできない貴重な資料であり、社会事業論壇の拠点的存在であった。

KS00001630

出版警察報 (全7冊、分売不可)

日本以外での販売可否：可 販売可能機関：すべて

同時アクセス1:¥150,000 同時アクセス3:¥300,000

現在の警察庁の源である内務省警保局は、書籍、新聞、映画の記事・表現物の内容を審査し、不都合があれば、発行・発売・無償頒布・上演などを禁止や一定期間差止する検閲を行った。本書は、編纂、配布された書籍雑誌を中心とするあらゆる出版物の取締状況、発禁および注意処分、新聞記事の差止通牒調、主要新聞雑誌の記事内容、外国の出版事情など、およそ公に印刷されたものすべてにわたり国家としての取組み方を細大もらさず記録した月報形式の文書の第一回配本全7冊(第1~27号)。

KS00001631

新人 全51巻 (分売不可)

日本以外での販売可否：可 販売可能機関：すべて

同時アクセス1:¥300,000 同時アクセス3:¥600,000

わが国キリスト教伝道史の上で基軸となった教界誌。同時に、明治後半期から大正の全時代にかけての思想の流れにおけるリベラリズムの証人としての意味をもつ。大正期後半に入ってから内外の政治情勢・経済その他の変動の中にあって唯一のキリスト教思想雑誌として27年余、302号にわたり発行された本誌は、日本近代思想の生の航跡を探る貴重資料である。

KS00001632

與謝野晶子評論著作集 (分売不可)

日本以外での販売可否：可 販売可能機関：すべて

同時アクセス1:¥70,000 同時アクセス3:¥140,000

歌人・與謝野晶子は短歌以外に膨大な著作を残した。その領域は広く深く、特に社会の動きに敏感に反応した社会評論の領域は晶子独自の思想を持って、時代を写しとっていた。自由人・與謝野晶子が生涯をかけて執筆した明治末からその死に至る36年間の評論・エッセイ750点余を収集・整理したものである。